

光市医師会報

平成7年1月号

No. 267



埠頭の初日



光市医師会

年頭の挨拶

光市医師会長 近藤龍一

新年おめでとう御座居ます。今年もよい年でありますように皆様と一緒に頑張っていきたいと思ひます。どうかよろしくお願ひ致します。

さて、言ひ盡されたことではあります、医療をとりまく状況は大きく動きつつあり本年も大変な年になることが予想されます。

政府は老人を病院から追ひ出して在宅医療に転換すべく躍起となつています。しかしながら、県医師会の役員の方先生に伺ひますと在宅医療は全国的に全く動いていないそうです。老人の家族や介護者は施設医療を望み、在宅を受け入れないということです。スエーデンやデンマーク等の福祉先進国では病院医療からナーシングホーム、更には在宅医療へと進み、日本もこれらを参考にしして施策を立てているのでしようからあながち間違ひとはいへませんが、両者の間には根本的な相違があるように思ひます。

ヨーロッパの国々は、財源の問題もありましようが、何よりもまず人間の幸福とは何か、どうしたら老人達に満足と安らぎを与えることができるかを必死で考え、悪戦苦闘、試行錯誤の末にたどりついた結論だということです。翻つて我国では、まず財政ありきで、どうしたら医療費や福祉費用を抑えることができるかばかり考へて施策を立てるので、国民からそっぽを向かれてしまうのだと思ひます。今のようなことをしては失敗ばかり繰返し、貴重な財源を浪費してしまうのではないかと危惧しま

す。

ところで、今年亥年ですが、我国では亥というと野猪のことをいい野蛮で粗暴な動物として余り人気はありませんが、中国では亥は豚のことだそう縁起のよいめでたい動物だということです。ヨーロッパでも豚は幸運をよぶ動物として人気があり、豚のチョコレートや置物、ペンダント等がたくさん売られていました。中国には「肥猪拱門」という言葉があり、「肥えた豚が鼻で門を開けて入ってくる。」というから、

幸運がころがり込んでくる、大いにもうかる、経済の見通しが明るいという意味だそうです。

今年も皆様に幸運が訪れ、実りの多い年でありますようお祈りいたします。



新春雑感

光市立病院長 板垣省三

42才で光に来て、今年はずいに満60才の年明けとなりました。誰かがいつか勤務医は7、8年で病院をかえた方がよい、バケの皮がはげる頃と云ったことがあります。光の病院が大変、再建したいので手伝ってくれと前院長を中心に半年がかりで遂にくどきおとされ赴任。2年間の約束がいつのまにか19年目になりました。

礼儀をわきまえず自我の強い私の様な男が親しく付き合えた光医師会は人格者ぞろいというか又はお人好し集団ともとれる。

又、10年前の院長人選のさいには大学当局では最終経歴が非常勤講師ではと難色を示した方もあったらしいが、光医師会は一貫して小生をバックアップしていただいたと聞く。実際、大学にいたころの私の教室は教授・助教授・講師は京大出身者でしめられ、山大出身の講師・院内講師が現在済生会山口の院長と県医師会の藤野会長であった。小生は最古株助手ということで山大の初代助手会長（つまり能なしの万年助手ということ）にまつりあげられたのはよいが、学園ふん争のさ中でもあった。

あつかましく存在するためには人間性をいささかくずさずにはやっていけない時代でもありました。

当然結果としてルートを外れ荒垢した心で大学を離れることになったが、光にきてもその性格はかわらず光医師会の先生方には長年迷惑のかげどおしであったことを反省しています。

今年からは老人クラブの有資格者でもあるそうで、少しは人間成長を意識して残りの人生を艶のあるものにして行きたいとおもいます。もっとも度重なる手術のあげく皮膚からはすっかり艶が消えてしまいました。

マッカーサーの残した言葉の“老兵は…”をもじって“病兵は…”という表現で現在の心境をなぞらえたりしていますが、今年もお互い和気あいあいの関係をたもちつつ助けあって益々むつかしくなっていく医療の現況に立ち向っていきたいとおもいます。

今、年令と身体事情から診療医としての限界をしきりに考えてはいますが、たしかに副院長時代にくらべ収入も実質減、小生にしかわからない内外の雑務におわれ、心労は重なります。つくづく無冠の医者にもどりたい心理状態にあります。

某県立病院の院長が自治体病院誌に投稿していましたが、一診療科のエキスパートがある年令に達して院長になるべくしてなったとしても病院管理等の知識もないままに、ただ地位を鼓舞して人あつめに熱心しているようでは、その人はすでに失格である。あっさり診療から身をひいて病院の医師の医療上の利益向上のための下働きでなくてはいけないといっていました。暗に診療上有名医であったその病院の前院長への批判ともとれる内容に曲解したが、今はそのとおりであることに気付いて、今までの自分が恥かしくなってきた。

能も才覚もないくせに院長・院長とおだてられ、院長がいるからこの病院はよくなったとかいって市民のおだてに調子ずき、自己陶醉型閉鎖回路にあっただけではないか。では自分が病院を去ったあとはどうだというのか。すくなくとも小生がいなくなると淋しくはなったが、あとにつづく医師がしっかりと頑張っており、病院はより良くなったのではないかと市民に云わしめることが、今の自分のなすべき最重要な役割であると、そう思っているこの頃です。

じっさい今の光市立病院ではそのような良い状況になっています。まだまだ、光医

師会の先生にとっても医療設備ひとつとっても不十分で、各医師のもつ診療能力を十二分にはつきしてあげているとはいえません。

収益をあげるのが目的ではありませんが、いくら赤字を出しても構わないということにはなりません。必ずのちに悪い結果を招来することになります。そういったジレンマとたたかいながら、すこしでもましな病院にして医師会と共存していきたいと考えています。つまらぬ新春の言葉となりましたが、皆様の益々の健康を心から願っています。

12月医師会月間行事

日	行 事	場 所	出 席 者
2	周南医学会準備委員会	光市医師会(光商工会議所)	8 名
6	レントゲン勉強会	梅 田 病 院	10 名
9	心電図研究会	光 市 立 病 院	10 名(光医師会)
13	定 例 理 事 会	光市医師会(光商工会議所)	8 名
17	忘 年 会	松 原 屋	36 名

郡市医師会正副会長会議の報告

前田昇一

12月1日(木)、県医師会館で会議が開かれた。協議・報告事項は6項目あり、報告事項1として、藤野会長より、11月5日(火)の都道府県医師会長協議会報告があった。その内容は、(1)医業税制について、すなわち消費税による医療機関の損税を解消する特例措置を講ずること、保険診療報酬に対する事業税の非課税存続、4段階税制の存続、医療法人の事業税に特別法人としての軽減措置の存続、その他18項目の日医の要望事項が示された。次に(2)病院機能評価に関する日医の「自己を評価して質の向上を図る」を目的としたこれまでの取り組みと厚生省の「病院機能評価基本問題検討会報告書」に関し、第三者評価機構による評価実施に向けての問題点が述べられた。すなわち、病院のランク付けにつながらないか、評価の基準は何か、一率には評価出来ないのではないかと、開示をいかにするかなど。次に(3)平成7年度名古屋での第24回日本医学会総会の案内と登録要請。(4)中央政局の情勢とその対応について、目下のところ日医としては、政権政党支持、55年体制下の保守+αを基本姿勢とする見解が示された。報告事項第2、浜田理事より11月20日(日)の中国四国医師会「社会保険研究会」報告があった。各県より出された協議事項は、以下の通りと示された。

- (1) 診療報酬改定方式の見直し、(2) 医療の消費税問題、(3) 薬価等医療財源、
- (4) 漢方製剤の保険薬価削除に反対、

(5) 保険診療に係わる院内掲示、(6) 在宅医療、(7) 入院時食事療養費、(8) トリガーポイント注射の問題点、(9) 消炎鎮痛剤の取り扱いについて。報告事項第3、藤本理事より中国四国医師会「医事紛争研究会」報告があった。協議事項は、(1) カルテ等診療内容の情報交換について、(2) M RSA訴訟、(3) 日医医賠責保険制度の改善、(4) 都道府県医事紛争担当理事連絡会の開催要望などであった。次に報告事項第4として、柏村理事より中国四国医師会「看護職員養成対策協議会」報告があった。協議事項として、(1) 看護婦・准看護婦制度と養成について、(2) 「地域保健法」の成立に伴い需要が増大する保健婦養成と確保について。日医への要望事項として、(1) 厚生省健康政策局の「少子・高齢社会制度問題検討会」で准看護婦養成の中止事項に断固反対願いたい旨。報告事項第5として、会館建設に関する経過説明が貞国副会長よりあった。それによると、県総合保健会館(仮称)の5階6階に専有面積1729.9㎡を区分所有となる県医師会館が平成9年完成となる予定。県医師会負担金は11億5千万円。最後の協議事項として、各郡市医師会からの意見・要望があった。

(1) 美祢医師会より、学校保健募金の使途が不明と云った質問で、高田理事より、日本学校保健会の財政基盤の確立のための募金で一般運営費として使うとの回答があった。(2) 長門医師会より、医師会より、

医師会立訪問看護ステーションの設立を検討中、他地区の状況は如何かと質問。現在県下にステーションは9カ所あり、医師会立は徳山医師会立訪問看護ステーションのみ。(3)岩国医師会より、日医・県医は福祉分野への進出を勧めるが、具体的にはどうゆうことかと質問。在宅ケアに力点を置くことで、それは医療から福祉を切り離す事にもなる。(4)国民健康保険医療費マップによると山口県が全国第2位となって

いる原因は?。高い高齢化率、退職者医療が多い。入院単価が高いなどの要因が指摘された。(5)在宅医療として患家先でのポータブルX線装置の使用や病室でのポータブルの使用は不可か?。特に問題なしの返答があった。(6)吉南医師会より、新予防接種法への対応について。(7)医師国保組合員の健診を受けやすいものにならないか。以上。(文責:前田)

定例理事会

日時:12月13日(火) 午後7時30分~

場所:光市医師会(光商工会議所)

出席者:近藤、前田、藤原、梅田

光武、赤崎、市川、吉村

議題:

- 1) 正副会長会議の報告 (近藤)
- 2) 医師出務等報酬の市への要望書について (前田)
- 3) オッパイ都市宣言について (梅田)
オッパイ都市宣言にむけて、母乳の運動をすすめる。一理事会は主旨に賛同
- 4) その他
 - ① 徳山中央病院より病床数減少の経緯と増床申請に対する協力の申し出がある。一了承
 - ② 新年互礼会—1月24日(火)の予定
 - ③ 光市医師会・光市学校保健会主催の医学講演会
2月2日(木)、午後1時30分より、光市民ホールにおいて開催
(演題)

「不登校の事例より」 藤山哲男先生

「学校における結核検診」

松田昭正先生

心電図研究会 (第78回)

光市・下松医師会合同

日時:12月9日(金) 午後7時30分~

場所:光市立病院

出席者:14名(光—10名)

症例:

- 1) 74才、♀(主訴)胸痛、チアノーゼ
(診断)WPW-A型?
- 2) 61才、♀(主訴)胸痛 (診断)左前壁梗塞+右脚ブロック
- 3) 64才、♂(主訴)食事摂取時に悪心、
(診断)広範囲前壁梗塞

レントゲン勉強会 (第3回)

日時:12月6日(火) 午後7時~

場所:梅田病院

出席者:10名

講師:徳山中央病院 岡本安定先生
会員の症例を解説していただく

周南医学会準備委員会

日時：12月2日(金) 午後7時30分～

場所：光市医師会（光商工会議所）

出席者：近藤、赤崎、松村、藤原
前田、市川、河村、吉村

議題：アンケート集計について

アンケート調査の結果を参考にして、特別講演に関する話し合いがおこなわれた。

○特別講演の演題は2題とする。1題は医学に関係するもの。1題は医学以外のものとする。

○特別講演を対象範囲を限定した市民に開放する。

特別講演に関するアンケートの結果

発送—55名、回収—34名

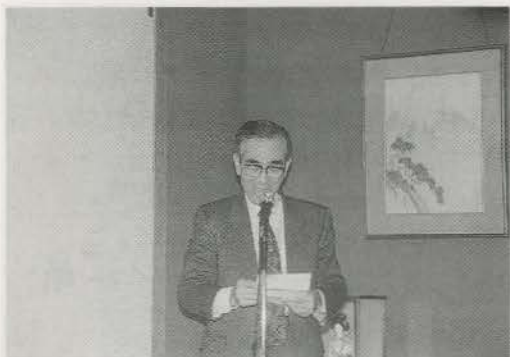
- | | |
|---|--|
| 1) いままでどうり、特別講演を、
行おう。 32人
行わなくてよい。 2人
(内1人はシンポジウムを) | 御を必要とする患者の症状。 |
| 2) 行おうとすると、一部、市民に開放しても、
よい。 16人
しなくてもよい。 14人
不明。 4人 | ② 日本におけるホスピスケア。
③ 日本人の死生観。
④ 安楽死について、死後の世界。
⑤ アトピー性皮膚炎について。
⑥ 老人問題、特にアルツハイマー病について。
⑦ 地方史、地方医療史について。
⑧ 医療の展望、将来に関するもの。
⑨ 東洋医学に関するもの。
⑩ 臨床栄養学に関するもの。
⑪ 血液疾患について
⑫ 肝、胆、すい臓の悪性疾患について
⑬ これからの医者はどうなる？
⑭ 萩焼きについて
⑮ 山口県の天気予報について |
| 3) いままでは、特別講演は1～2題あるが、
2題とも医学に関係するものがよい。 8人
1題は医学以外のものでよい。 22人
その他。 1人
不明。 3人 | ※ シンポジウムの希望—2人
(赤崎先生作製の資料) |
| 4) 特別講演の内容について
① プライマリケアに必要な精神科の知識。精神科におくるコツ、医師が防 | |

忘年会

日時：12月17日(木) 午後6時30分～

出席者：36名

場所：松原屋



中村琢美先生「古希」のお祝い

忘年会に先立ち、先生の古希をお祝い、
会員を代表して会長より記念品が贈呈された。

〈挨拶〉

只今は会長よりお祝いの言葉と記念品を
いただき、誠に有難うございました。

ひと言お礼申し上げたいと思いますが、
なにぶんスピーチ下手の私、緊張のあまり
頭の中が「パニック」になって、途中何を
言い出すか心もとないので、今日午前中メ
モを書き、持って参りました。

私は、三十九才のまさに「青春？」の時

希望に燃えて光市に住みましたが、「あっ
と!!」思う間に三十年経過、ごらんの如き
白髪の老人になってしまいました。

この間、実にいろいろな事がありました。
今思い起すと感無量でございます。とくに
四十四才の時、思いがけず大病にかかり、
まさか今日迄、生き延びようとは夢にも思
いませんでした。運命のいたずらでしょう
か。

この間、皆さま方のお蔭で、大した過ちも侵さず診療を続けることが出来て、心から感謝申し上げます。

市立病院の先生方には、患者のことで特にお世話様になりました。

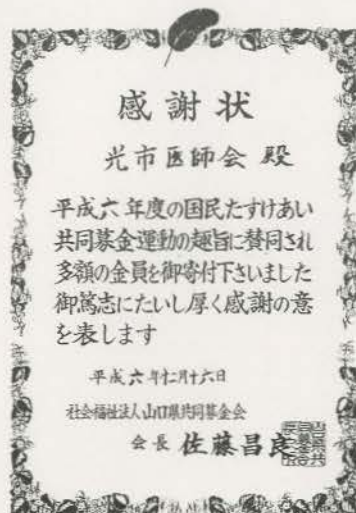
元来、私は無精で消極的な性格の上に、悪い頭が年と共に更に鈍くなるばかりなので、早くリタイアしなければと常に思っています。

これからは公的な仕事を出来るだけ減らしていただき、体力だけは多少自信がありますので、あと「2～3年」近所の老人相手に仕事をつづけたいと思います。暫くの間、御迷惑とは存じますが、よろしくお願い致します。

本日は「お祝い」本当に有難うございました。

(忘年会当日の挨拶を再掲しました)

ト ピ ッ ク ス



(忘年会の時に集めたものです)

あ と が き

「大寒」をむかえ寒い日がつづいております。インフルエンザが猛威をふるっておりますが、予防接種が中止になった途端の大流行です。偶然の一致なのでしょう。

兵庫県地方が大変な地震に見舞われました。世界の最先端をゆくとされる日本の大都市の、まさかの災害です。予防や予測は大変むづかしいものだと思いますが、テレビ画面を通して見る惨事に、心の痛む思いがいたします。

まだ寒さがつづきます。体調をくずされませんように。

(吉村)

② ③ ④ ⑤
の 疾



光市医師会報 第10号
発行所 光市医師会
TEL 0833 72-2234
発行 近藤龍一
編集 広報担当
印刷 光市光井一丁目15番20号
中村印刷株式会社

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行 者	近藤龍一
編集 者	広報担当
印刷 所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社